

【法人の概要】

代表者名	理事長 樋田洋樹	所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	山梨県北杜市小淵沢町大平10061	電話番号	0551-36-3200		
ホームページURL	https://www.yatuboku.jp	E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp		
資本金(基本財産)	10,000 千円	設立年月日	昭和52年3月23日		
主な出資者等	出資順位	出資者名等		出資額	出資比率
	1	山梨県		10,000 千円	100.0 %
	2			千円	0.0 %
	3			千円	0.0 %
	4			千円	0.0 %
	5			千円	0.0 %
	6			千円	0.0 %
	7			千円	0.0 %
	8			千円	0.0 %
	9			千円	0.0 %
	10			千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)		千円	0.0 %
	その他			千円	0.0 %
				10,000 千円	
設立目的	山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。				
経緯概況等	県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年:周年預託業務を開始。 平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者と指定され、これまで継続。 平成23年:公益財団法人に認定された。				

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業1 八ヶ岳牧場管理受託業務	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務 草地等の維持管理業務、農家の巡回調査指導業務 肉用牛の改良増殖業務、家畜排泄物処理業務等	211,877	191,171	196,629
事業2 まきば公園管理受託業務	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理 公園施設、草地、植栽の維持管理 来園者の対応、各種イベントの開催	18,270	17,656	17,586
事業3				

【組織】

各年度体制	年度	令和 5 年度					令和 6 年度					令和 7 年度						
		職 員	県 職 員 派 遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	職 員	県 職 員 派 遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他	職 員	県 職 員 派 遣	県 職 員 兼 務	県 O B	そ の 他		
役員等	理事(常勤)	1			1				1					1				
	理事(非常勤)	8		2		6			8		2		6					
	監事(常勤)	0							0									
	監事(非常勤)	2				2			2				2					
	評議員	5				5			5				5					
	計	16	0	0	2	1	13	16	0	0	2	1	13	16	0	0	2	1
職員	管理職	0	0						0	0				0				
	一般職員	20	20						21	21				18	18			
	臨時職員	3				3	2					2				2		
	非常勤職員	0					0					0						
	計	23	20	0	0	0	3	23	21	0	0	0	2	20	18	0	0	0
令和7年度 プロパー職員の 年齢構成 (令和8年4月1日現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計						平均年齢	平均年収			
	男性		1	3	5	2	5	16	役員				※	(千円)				
	女性		2	1		1		4	常勤				※	(千円)				
	合計	0	3	4	5	3	5	20	職員	46			4,584					

※個人の年齢、年収が容易に推定できるため不記載

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減
正味財産の状況	基本財産等運用益	47	47	47	△ 0
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	233,756	233,173	217,782	△ 15,391
	自主事業収益	58,936	55,481	53,003	△ 2,478
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	1,304	819	1,204	385
	経常収入 計	294,043	289,520	272,035	△ 17,485
	事業費	286,467	280,636	258,131	△ 22,505
	うち人件費	140,983	136,120	132,687	△ 3,433
	管理費	11,550	11,098	11,274	176
	うち人件費	9,587	9,480	9,574	95
	経常支出 計	298,017	291,734	269,405	△ 22,329
	当期経常増減額	△ 3,974	△ 2,214	2,630	4,844
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 3,974	△ 2,214	2,630	4,844
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
正味財産期末残高	115,837	113,623	116,253	2,630	

(単位:千円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減
財務状況	流動資産	58,559	47,492	52,218	4,726
	固定資産	132,891	130,975	134,638	3,663
	資産 計	191,450	178,467	186,855	8,389
	流動負債	54,752	39,070	48,584	9,514
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	20,861	25,774	22,018	△ 3,756
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	75,613	64,844	70,602	5,758
	正味財産	115,837	113,623	116,253	2,630
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	0
うち特定資産への充当額	61,621	59,490	69,515	10,025	

(単位:千円)

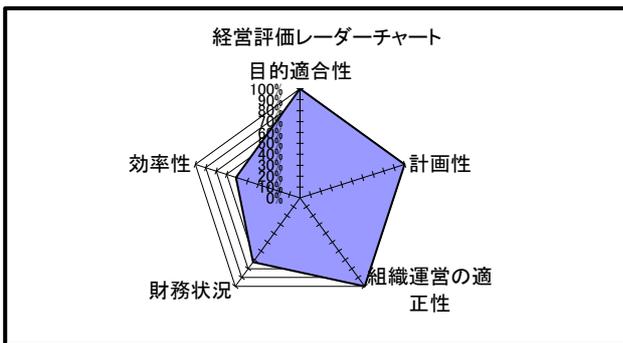
項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	増減
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費委託金	140,983	136,120	132,688	△ 3,432
	人件費以外の委託金	92,773	97,054	85,094	△ 11,960
	委託金 計	233,756	233,174	217,782	△ 15,392
	県支出金 計	233,756	233,174	217,782	△ 15,392
	県の財政的関与の割合(%)	79.5	80.5	80.1	△ 0.4
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の状況(令和6年度)】

項目	内容・目的・金額
負担金	該当なし
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	県立八ヶ岳牧場管理委託費…農家家畜を受託管理するとともに、県有牛を改良増殖・供給し、本県の畜産振興に資する。(R6委託料:196,629千円) 県立まきば公園管理委託費…自然の中で動物とのふれあいの場を提供し、県民の畜産への理解を深め、県民の保健休養に資する。(R6委託料:17,586千円) 死亡牛焼却処理業務委託費…西部家畜保健衛生所より県が行う牛海綿状脳症(BSE)検査後の死亡牛の受入及び焼却処理業務を受託(R6委託料:3,565千円)
県債務負担 実際残高	該当なし

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	10	10	100.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	10	10	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	10	10	100.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	44	32	72.7%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	18	11	61.1%
合計		21	92	73	79.3%



【警戒指標数】

目標達成度	
正味財産増減	
流動比率	
借入金依存率	
債務超過	
県の将来負担見込	
回収不能債権	
県の債務処理補助等	
公益認定基準抵触	

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県立八ヶ岳牧場では、農家家畜の受託管理並びに県肉用繁殖牛の改良及び子牛の売却等の事業を通して、本県の畜産振興に寄与している。特に農家家畜の受託管理においては、飼料価格等の高騰が畜産農家の経営を圧迫する中、農家等が保有する乳用牛、肉用牛の受入を積極的に行い、畜産農家の経営負担軽減に貢献してきた。一方、県立まきば公園では自然や動物とのふれあいを通じて、県民等に憩いの場を提供するなど、指定管理者として基本協定に基づき業務を適正に行った。
計画性	年度ごとに定める事業計画に基づき効率的に事業を運営するとともに、計画と実績を比較分析する中で業務・経営の改善に努めている。飼料費などの急激な価格変動に加え、定年年齢の引き上げや賃金アップが進む中での人員管理など、多方面に注意を払いながら安定した経営に努めてきた。
組織運営の適正性	段階的な定年延長を考慮する中で、過不足が生じないように職員の確保を図ってきた。また、定期的な人事異動のほか、研修による職員の資質向上、定期的なミーティングによる情報共有とモチベーションの向上などにより、人材の育成と組織力の強化に努めている。事業計画や事業報告、財務状況などをホームページで公開し透明性の高い運営を行ってきた。
財務状況	飼料費等は依然として高止まりした状況が続いているが、県からの追加委託料で高騰分は補填できた。また、冬期貯蔵飼料の生産量が足りず不足分を購入粗飼料に依存せざるを得なかったが、肥料の散布体系の見直し等により原材料費を削減し4期ぶりに黒字に転じた。引き続き、管理費の節減や自給飼料の安定確保に努めるなど、法人としてできる対策を着実に進めていくことで収支状況を改善していく必要がある。
効率性	計画的な人員管理による人件費の抑制や管理費の節減などにより効率的な法人運営を進めてきた。目標に設定している県立八ヶ岳牧場の農家家畜の延べ受託頭数は125,185頭と前年度比で7.4%減少したが目標頭数(120,000頭)を上回った。一方、県立まきば公園の入園者数は133千人と前年度比で0.7%減少し目標人数(240千人)を大幅に下回った。
総合的評価	優良素牛の売却等による甲州牛の生産基盤強化や飼料価格等が高騰する中での受託家畜の受入、繁殖管理の充実等により畜産農家の経営安定に大きく寄与してきた。一方、まきば公園においては、天候等の影響で利用者が減少したが、ホームページ等を通じた情報発信やイベントの積極的な開催などの取組を進めることで、施設の目的達成に向けた管理運営を進めてきた。



対応策	八ヶ岳牧場業務については、今後、飼料費の高騰をはじめ様々な分野で急速に進む物価高騰の影響を受けることが想定されるので、自給飼料の安定確保や更なる経費節減に努める中で、経営の安定化を図っていく。また、性選別精液や受精卵移植の活用などの繁殖技術や飼養管理技術の向上を図り、利用者のニーズに合った質の高いサービスを提供していくことで、引き続き本県畜産進行に寄与していく。まきば公園については、園内美化の徹底、イベントの積極的開催などにより利用者の満足度を高めるとともに、近隣施設と連携した情報発信により利用者の拡大を図っていく。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例及び協会設置目的に則り、適切な受託事業等を実施している。長引く物価高騰により畜産経営が圧迫される中、積極的に受託事業を行い、農家の要望に応えられている。まきば公園については、適切な管理運営を行っているところであるが、来園者数増加に向けて、積極的な広報活動に継続して取り組んでいく必要がある。
計画性	経営計画及び年次事業計画に基づき、適切な管理運営が行われている。事業分析を行い、業務改善にも継続的に取り組んでいる。今後も計画的な人材育成と業務の見直しを継続していく必要がある。
組織運営の適正性	段階的な定年延長が進められる中、職員の確保及び人材育成に計画的に取り組んでいる。また、組織運営及びリスク管理に必要な体制整備が行われ、適切に運用されている。事業活動内容や財務状況もホームページにて公開されている。引き続き、業務上のリスクの共有・対応方法の定期的な検討や、法人事業・イベント等の積極的な情報発信、適正な組織運営に努める必要がある。
財務状況	物価高騰の影響が続く中、業務の見直しを行い経費節減に努めた結果、正味財産増減額はプラスに転じた。引き続き、自給粗飼料の安定確保と経費の見直しを継続し、収支状況の維持に取り組むことが求められる。
効率性	R6年度は給与のベースアップに伴い、人件費及び管理費が増加し、評価が下がったものの、ハケ岳牧場及びまきば公園の利用者数は前年度並みを維持している。今後は広報活動等を通じて、引き続き、利用者数の確保に努めていく必要がある。
総合的評価	給与のベースアップに伴う人件費増加により、効率性の評価が一時的に低下したものの、設立目的に沿った事業は適切に実施されている。また、物価高騰が続く中であっても、法人の収支はプラスに転じており、適切な法人運営が行われている。引き続き、収支状況の維持と人材育成に取り組むとともに、ハケ岳牧場及びまきば公園の利用者確保と満足度向上に努めることが求められる。

【総合評価】:(経営検討委員会による総合評価)

総合評価 ランク	<p style="text-align: center;">B</p> <p>得点率 79.3 %</p> <p>警戒指標数 0</p>	<p>A 得点率80%以上かつ警戒指標なし</p> <p>B 得点率70%以上80%未満または警戒指標が1</p> <p>C 得点率60%以上70%未満または警戒指標が2</p> <p>D 得点率60%未満または警戒指標が3以上</p>
総合的所見	<p>・令和6年度は、当期一般正味財産増減額がプラスとなった。一方で、未払金が増加したことにより、流動比率や自己資本比率の評価が下がり、財務状況の評点が低下した。</p> <p>・原材料費の削減等により事業費が減少した一方で、人件費は微減だったことにより、人件費比率の評価が下がっている。また、管理費の増加により、管理費比率の評価も下がっている。加えて、ハケ岳牧場への受託頭数減少及びまきば公園入場者数が減少したことにより、職員1人当たり施設等利用人数が減少したことも影響し、効率性の評点が低下した。</p> <p>・これらにより、総合評価は、昨年度のA評価から、B評価に低下している。</p> <p>・今後も畜産農家の経営安定を図るとともに、甲州牛の生産基盤強化に努めるなど、本県の畜産の安定発展に寄与することが期待される。引き続き自給飼料の安定確保やさらなる経費削減に努めると共に、ハケ岳牧場及びまきば公園の利用者確保にも努められたい。</p>	



【総合評価に対する今後の対応方針】

<p>今後も物価高騰や人件費アップによる費用の増加が想定されるが、自給飼料の安定生産や更なる経費削減に務めることで経営の安定化を図り、本県の畜産の安定的発展に寄与できるよう積極的に事業に取り組んでいく。</p> <p>まきば公園については、利用者の増加を図るためイベントの開催や近隣施設と連携した広報活動などに引き続き取り組んでいく。</p>
